

**製品名: MATK マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM80774**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	56kDa

## 抗原情報

遺伝子名	MATK
別名	CHK; CTK
遺伝子 ID	4145.0
SwissProt ID	P42679
免疫原	大腸菌で発現したヒト MATK の精製された組み換え断片。

## 背景

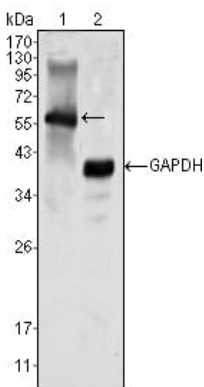
MATK (巨核球関連チロシンキナーゼ) は CTK としても知られるタンパク質で、Csk チロシンキナーゼとアミノ酸配列の相同性を有し、CSK サブファミリーの構造的特徴 (SRC 相同性 SH2 および SH3 ドメイン、触媒ドメイン、固有の N 末端、ミリスチル化シグナ

ルの欠如、負の調節リン酸化部位の欠如、および自己リン酸化部位の欠如) を有する。このタンパク質は、造血細胞のシグナル伝達において重要な役割を果たすと考えられている。Src ファミリーキナーゼをリン酸化して不活性化することができ、T 細胞増殖の制御において阻害的な役割を果たす可能性がある。このタンパク質は、一部の乳がん症例においてシグナル伝達に關与している可能性がある。

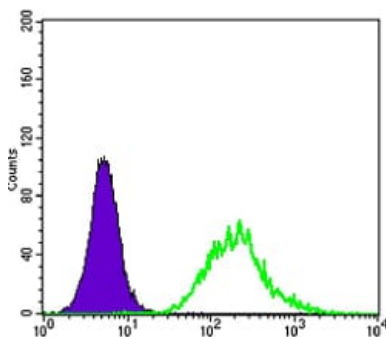
## 研究分野

-

## 画像データ



K562 細胞溶解物に対する MATK マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析 (1)。



MATK マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。